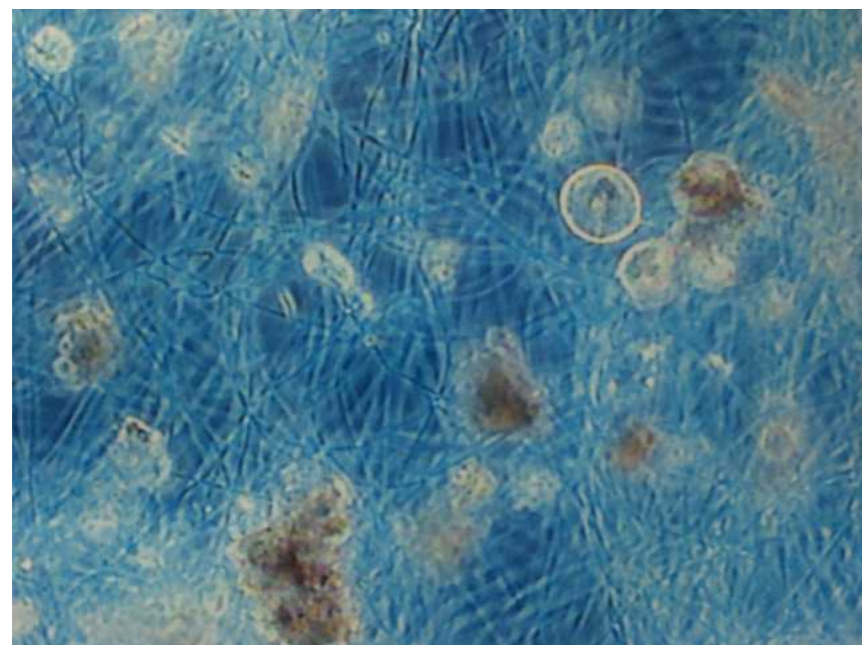


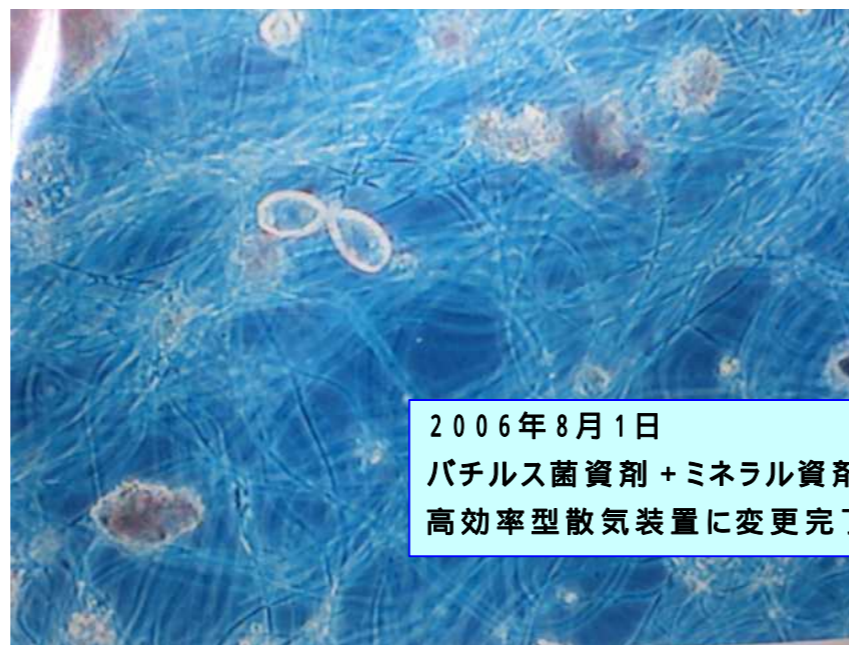
技術資料 - 活性汚泥変化(糸状菌 ~ 有用微生物群)の比較

某食品製造工場での実例

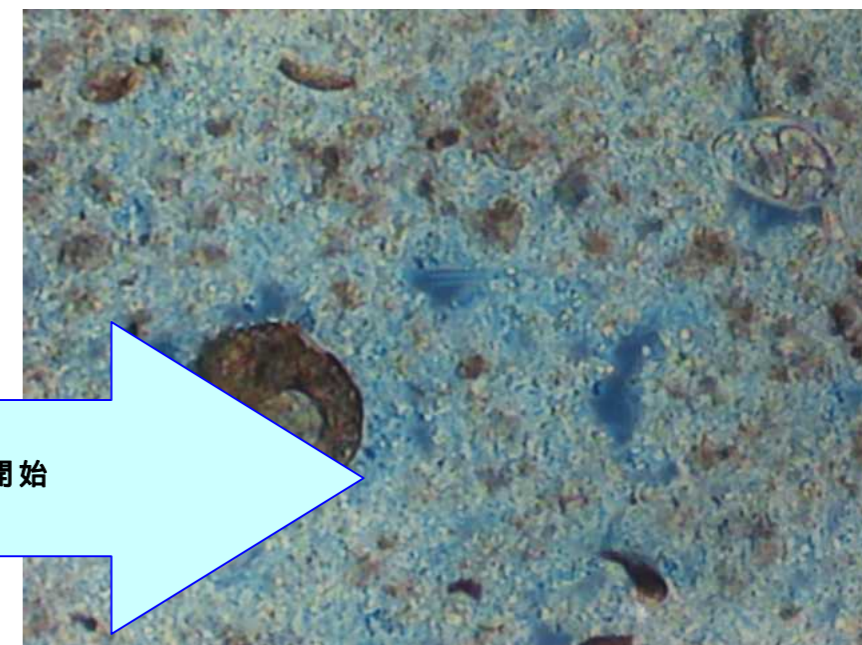
バチルス菌資剤を定期投入し、曝気槽(生物処理槽)の散気装置を高効率型散気装置に変更。



2006年4月20日 対応前の状況 糸状菌優先化して、処理ができていない

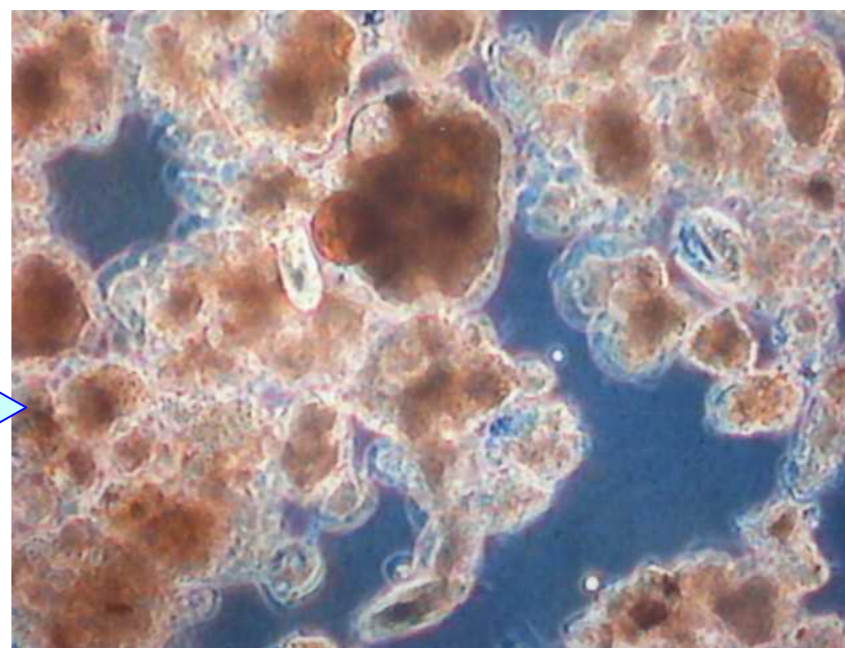


2006年8月1日
バチルス菌資剤 + ミネラル資剤の定期投入開始
高効率型散気装置に変更完了

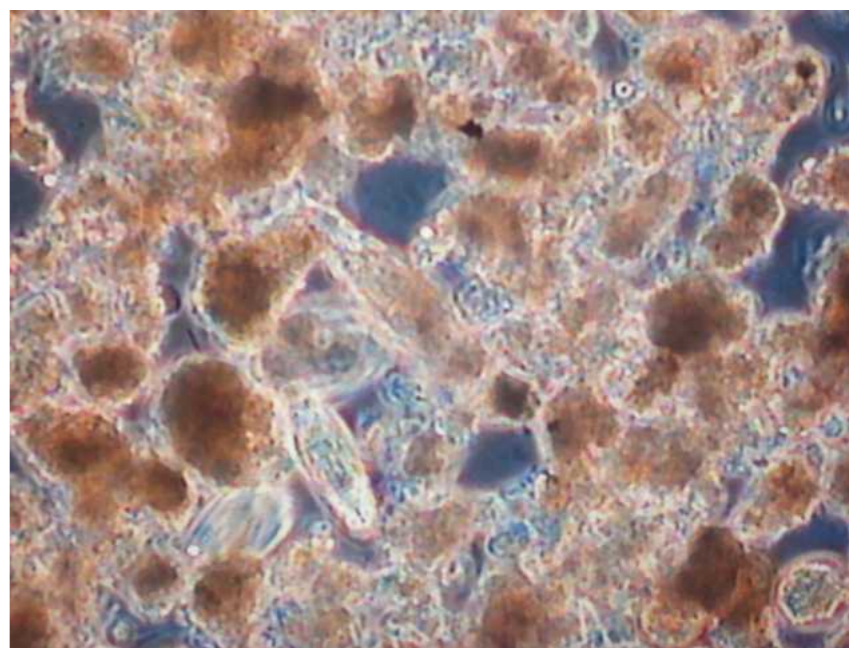


2006年10月25日 糸状菌が減り、フロック(茶色の塊)の形成が始まる

2007年1月5日 弊社による技術指導開始
処理細菌の能力試験の結果から、流入基質、処理状況に応じた
運転管理アドバイスを開始



2007年6月30日 高い分解能力を維持しているバチルス菌が優先化し、フロックの厚み・色・固液分離性が良好な状態を維持している



バチルス菌を優先化させ、処理能力の向上、能力を維持した状態で安定させるためには、適切な維持管理と技術指導が必要です。